



## 令和7年度が始まりました。どうぞよろしくお願いいたします。



桜が満開の校庭、進級の喜びを胸に元気いっぱいの笑顔あふれる子どもたちの声が校舎に響き、学校に活気が戻ってきました。

昨年度より引き続き、学校長を務めることとなりました「府川伸」と申します。『子どものための鶴巻小学校』を、教職員一同、力を合わせてつくっていきたいと思いますので、保護者・地域みなさま、どうぞよろしくお願いいたします。

令和7年度の鶴巻小は、児童数685名でスタートいたしました。鶴巻地区も年々、児童数が減ってきており、1,2,4年生が3クラスとなりました。

昨年度3月25日の修了式では、次のようなお話をしました。

『鶴巻小学校の子ども達は、校長先生にとって全員が大事な子ども達です。高学年の子が低学年の子に優しくしてあげているのを見たり、同じクラスの子と楽しく遊んでいるのを見たりすると、本当にうれしく感じます。逆に、友達同士でけんかをしているのを見かけると心が痛みます。どちらも大事な子ども達だからです。』

一人一人の子ども達が、鶴巻小学校の子ども全員に対して、『少しの気遣い』と『少しの心配り』と『少しの他者理解』があれば、みんなが気持ちよく学校生活が送れると思います。みんなが鶴巻小学校の子どもで良かったと思えるような学校を目指してまいりますので、保護者の皆さまの温かいご協力をよろしくお願いいたします。

学校教育目標は、昨年度と同じとなっています。

### <学校教育目標>

豊かな心と自ら学ぶ力を身につけ、たくましく生きる児童の育成  
～生涯にわたって幸福な人生を歩むための基盤をつくる～

### <具体目標>

- (1) 健康で安全な生活を送ることや、人生の豊かさにつながることの知識・技能を身につける子を育む。
- (2) 情報を適切に活用しながら論理的に考え、相手や目的を明確にした表現や発信ができる子を育む。
- (3) ICTの活用や友だちとの対話等を通して、最後まで粘り強く学びを深める子を育む。
- (4) 地域の人々との交流を通して、地域の伝統や文化を理解し、地域を愛し、進んで社会のために貢献しようとする子どもを育む。

### <めざす児童像>

- 自ら学び、考えを表現できる子
- 心身ともにたくましく、最後までやりぬく子
- 礼儀正しく、思いやりのある子



子どもたちには、令和の時代をかしこく・たくましく生きて、幸せな人生を歩んでもらいたいと思っています。そのための基盤を小学校の生活においても培っていければと思います。

## 第42回 入学式

4月7日(月)、入学式が行われました。101名の新入生を、校庭の満開の桜が祝福しているかのように、桜の花びらが舞い散る中で行われました。新1年生は、少々、緊張した面持ちで入場しましたが、校長先生の話やPTA会長の話などに「よろしくお願いします」「ありがとうございます」と、大きな声で返答でき、新入生とは思えない落ち着きぶりでとても立派でした。式後、各学級で学級指導を行い、校庭で桜をバックに記念撮影を行いました。



### <保護者の皆様へ>

◎今年度より、4～6年生の朝の時間に『モジュール学習』を行うこととしました。1回15分で、授業として位置づけし、教員が支援・指導を行います。学習内容は、国語の漢字学習や算数の基礎基本の習熟等を行う予定です。

◎新型コロナウイルス蔓延をきっかけに随時行ってきたオンライン授業ですが、次のように整理させていただきました。

- ・普通の短期間の病欠の場合は、療養に専念してもらうため、オンライン授業を原則として行わない。
- ・長期にわたる欠席や不登校児童の対応の場合は、個別に対応するため担任に申し出る。

以上となります。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

### 「つるふわ」について

鶴巻小学校では、「ありがとう」「よかったね」「だいじょうぶ？」を「つるふわ」ことばとしています。もともとは「つるまきふわふわことば」として子どもたちに考えてもらったことばです。それを短くして「つるふわことば」です。

言われてうれしかったことばを「ふわふわことば」と言います。相手のことを考えたことばがけが子どもも大人もできるといいですね。そういう願いをこめて、学校だよりの名前にしました。

反対に言われると悲しくなることばを「ちくちくことば」と言います。使わないようにしたいことばです。